

# あきた Biz 11

2022  
November  
Vol.586

相乗効果で新たな可能性を切り拓く  
地域の資源を活かす農商工連携



「あきたしらかみにんにく」を加工する株式会社元氣屋の従業員/北秋田市

先行き不透明な経営環境の中で、事業を維持・発展させていくためには、自社の商品やサービスをブラッシュアップして競争力を強化することが重要です。

そのためには、業種の枠を超えて農林水産業などの一次産業者と連携することが有効であり、自社だけではできなかった新たな商品の開発につなげることも可能になります。

特に、秋田県の基幹産業である農業に目を向けると、キラリと光る農産物が多くあることから、農業者と連携することで新たな顧客を開拓するチャンスが広がります。

本号では、農商工連携によって、どのような効果が生み出されるかを整理し、農業者と信頼関係を築き地域経済の活性化に取り組む事業者を事例として紹介します。

# 効果を生み出すための農商工連携の流れ

商工業者と農林漁業者の連携で生み出される新たな商品やサービスは、他社商品との差別化が図られるとともに、お互いの売上や利益の増加につながります。また、地域資源を活用することで、地域を代表する特産品になる可能性を秘めていることから、地域経済の活性化にもつながっていきます。

## ① マッチング



### お互いの持つ資源を把握！

農林漁業者の強み……農林水産資源の生産技術など  
商工業者の強み……独自の経営ノウハウや加工技術、販路など

## ② 共同開発



### お互いの強みを活かした開発！

●市場のニーズとマッチした付加価値の高い特産品・商品の開発  
●体験型観光など、新サービスの創出

## ③ 宣伝・販売



### お互いの強みを発揮した効果的な販売戦略！

地域や新商品の特性を活かした戦略的PRと販売による売上アップ

## 更には…

商品やサービスが注目を浴びることにより、地域への観光客が増えるなど、更なるマーケットの拡大が期待される。

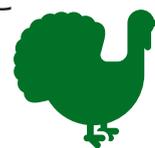
## 農商工連携の例

### 養鶏業 × 飲食店

#### 地域の観光客増加を目指す！

**取組** 養鶏業者と地域の飲食店が連携し、地元産の鶏肉を使用したきりたんぼや焼き鳥などのメニューを開発した。更に、地域の飲食店と一緒にスタンプラリーを開催した。

**効果** 地産地消を促進するとともに、観光客の増加につながった。



### 林業 × 雑貨製造業

#### 木材の温もりを活かす！

**取組** 林業者と雑貨製造業者が連携し、地域で伐採された間伐材を活用したインテリア雑貨を製造した。

**効果** 商品が地域内の公共施設で飾られたことで、地元産の木材のブランド力向上につながるとともに、産地としての一体感が高まった。



### 水産養殖業 × 旅行業

#### 地域の食文化を広める！

**取組** 水産養殖業者と旅行業者が連携し、ツアー客が養殖場で餌やりなど実際の魚に触れながら、食の重要性等を学ぶ体験・交流型のツアーを販売した。

**効果** ツアー参加者が地域の水産物を購入することで、地域産品の認知度向上につながった。



## お詫びと訂正

あきた商工Biz plus10月号の下記ページにつきまして、誤りがありました。深くお詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正させていただきます。

- P3下部 (正) 代表取締役専務 安藤 雄介さん  
(誤) 代表取締役専務 安藤 雄輔さん

## ○事業者概要

平成14年に、北秋田市で個人経営のラーメン店としてスタート。「おいしい食品で地域を元気にしたい!」という思いから、「株式会社元氣屋」を設立した。

現在は、焼肉店やレストラン等、国内外に12店舗の飲食店を経営するほか、地域の食材にこだわった商品を製造販売している。

また、これまで蓄積された経営ノウハウを活かしたフランチャイズを展開しており、地元の食文化の普及に努めている。



ラーメン店と焼肉店が併設されたグループ店舗

## ○農商工連携のきっかけ

商工会の会合に参加した際、同席した「株式会社しらかみファーマーズ」の社長から、スーパーで販売できない規格外の「にんにく」の扱いが課題である旨の話をうかがった。

また、自社にんにくを加工した商品開発を検討しているという話から、双方にメリットが生まれる可能性を感じ、連携は一気に加速した。

## ○商品化への取組

### 家庭用調味料やお菓子、贈答用セット商品の販売

▶当社で顧客に提供している「にんにく」をふんだんに使用したこだわりの味を、家庭の食卓や地域外にも提供したいとの思いから、消費者のニーズを探りながら「あきたしらかみにんにく」を活用した「元氣焼肉のたれ」や「にんにくチップス」などの商品開発を行った。

### 農商工連携会議を通じた情報の共有

▶以前、農家と取引した際に商慣行の違いから、契約を反故にされたことがあった。この経験から、綿密な情報共有の重要性を再認識し、3ヶ月に一度のペースで連携先と収穫状況や納期等の情報を共有し、双方の認識に行き違いの無いように取り組んでいる。

### ホームページのリニューアル

▶ブランド力のある「あきたしらかみにんにく」を当社のホームページに特集したことで、「にんにく」に関心のある顧客の誘導につながり、当社の存在やこだわりを知ってもらい、元氣屋のブランド力向上につながった。

## ○事業者の声

取締役会長 虻川 敬使さん

地元ブランドである「あきたしらかみにんにく」を加工した商品開発の話を受け、「にんにく」と屋号である「元氣」というキーワードが結びつき、連携に取り組もうと思いました。

コロナ禍に事業を開始したこともあり、完成した商品を展示会にてお披露目することが思うように進みませんでした。また、大手企業に商品を卸す際に必要な加工場の認証(秋田県HACCP)のため、設備を整える必要があり、資金計画など事前準備に苦労しました。

連携をきっかけに、当社を広く知ってもらえた実感しています。商売は周りから活かされて成立していると思います。地元の食材を地元で消費し、内外へ発信することで、北秋田市の経済活性化につなげるため、今後もチャレンジする気持ちを大切に、事業に取り組んでいきます。



農商工連携で誕生した「あきたしらかみにんにく」の商品

## 地域経済活性化を目指して【商工会成長プラン'22-26】独自戦略

### 県北地区：ニツ井町商工会

#### 独自戦略1 「道の駅ふたつ」から街なかへの回遊性向上による交流人口の増加

道の駅ふたつは来場者数が年間約100万人と高い集客力を誇っています。また、令和5年度にはニツ井今泉道路と小繋インターチェンジ(仮称)が開通予定となっており、益々の盛況が期待されます。

そこで、街なかへの回遊性を高めて地域活性化を図るため、電子クーポン券機能付き観光アプリ「能代きみまち散歩」の活用推進、町の見どころを紹介するパンフレット「おらほの街の宝もん」の発行、商店街活性化の拠点「恋文すぽっと きみまち」によるSNS発信の強化、地域外の人々が立ち寄りやすい環境を整えるためインターチェンジ名称アンケートの実施と国土交通省への要望、などを行っています。



ニツ井町のオススメ紹介パンフレット

### 中央地区：由利本荘市商工会

#### 独自戦略1 デジタル社会・企業の実現に向けた由利本荘地域DXの推進

創業にチャレンジする事業者に対してデジタル技術を活用した支援体制として「創業塾のオンデマンド配信」を導入し、理解度を高める取組をしています。特に女性及びシニア起業家輩出を後押ししています。

#### 独自戦略2 メガインフラを活用した由利本荘市経済の活性化

洋上風力発電事業を通じて地域の雇用創出や新たな観光産業の振興、さらには地元業者とのビジネスマッチングといった経済的波及効果の最大化を図るべく、選定事業者による事業概要説明会を開催しています。



洋上風力発電イメージ  
提供：三菱商事洋上風力㈱

### 県南地区：ゆざわ小町商工会

#### 独自戦略1 『ゆざわ小町地域』地場産業の新価値創造支援

稲庭うどんや川連漆器、秋田仏壇をはじめとする地場産業の販路拡大や事業者の新商品開発を推進します。

具体的には、顧客ニーズを収集・分析するための購買動向調査を実施し、その結果を事業者へフィードバックすることで商品開発に活かします。

また、関係機関との連携を図りながら、インターネット技術等の活用を促進し、オンライン商談会への出展支援を行います。

#### 独自戦略2 観光資源の魅力向上による『ゆざわ小町地域』交流人口の拡大

地域内の交流人口の増加により地域活性化を図るため、既存の観光資源の磨き上げと、新たな観光資源の創出を行います。

具体的には、地域に点在する観光資源間の連携を通じた体験型観光ルートの企画・提案や業種別部会等の開催による体験型観光の研究等、観光地の魅力向上に向けた取組を推進します。



産業と地域資源等の融合による産業観光の創出

広告

商工会員だけの大きな特典  
商工会が提案する4つの安心サポート

## 商工貯蓄共済

**経営指導**  
経営のトータルサポート

**生命保障**  
万が一に備えたリスク管理サポート

**資金繰り**  
企業の資金繰りサポート

**貯蓄**  
資産の充実サポート

どちらも月々  
2,000円  
から

あなたも家族もまるごと守る!  
頼れる補償の商工会の福祉共済

## 全国商工会会員福祉共済

「けが」の補償

「病氣」の補償

「がん」の補償



※この紙は再生紙を使用しています。

発行所／秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号秋田県商工会館内 電話／018-863-8491(代)  
購読料／1部10円(会費に含む)